

令和5年度進行管理・評価シート
松本市歴史的風致維持向上計画（第2期）（令和3年5月19日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 庁内部局間(市長部局と教育委員会)の連携	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 屋外広告物の規制	2
2 重点区域における景観計画の活用	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
□ 歴史的建造物等の保存と活用に関する事業		
1 松本城南・西外堀復元事業	4
2 国宝松本城天守等耐震対策事業	5
3 国宝松本城天守防災対策事業	6
4 松本城堀浄化対策事業	7
5 国宝旧開智学校校舎耐震改修事業	8
6 歴史まちづくり事業	9
7 松本城世界遺産登録推進事業	10
□ 歴史的建造物等の周辺環境に関する事業		
8 (都)内環状北線整備事業	11
9 松本城周辺道路整備事業	12
10 市役所庁舎建替事業	13
11 松本城を中心としたまちづくり事業	14
□ 歴史的まちなみ景観に関する事業		
12 歩いてみたい城下町まちづくり事業	15
13 景観計画推進事業	16
14 空き家対策事業	17
□ 伝統行事など伝統文化の継承に関する事業		
15 文化財記録保存事業	18
16 市民学芸員養成講座	19
17 松本城学びと研究事業	20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用について	21
2 文化財の修理について	22
3 文化財の保存・活用を行う施設について	23
4 文化財の防災について	24
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1	25
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 歴史まちづくりの効果について	26
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	27

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
庁内部局間(市長部局と教育委員会)の連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 歴史的風致の維持向上を図るためには、様々な分野の多岐にわたる施策を実施する必要があり、関係各課との意識共有が不可欠です。そのため、計画の推進に当たっては事務局をお城まちなみ創造本部と文化財課が担当して、各事業担当課と庁内の横断的な連携をとり、法定協議会である松本市歴史的風致維持向上協議会において協議を行って、計画の円滑で効果的な進捗を図ります。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

事務局の総合戦略局お城まちなみ創造本部と文化財課が連携して事業を推進している。
 歴史まちづくりに関する庁内会議 計3回実施
 令和5年7月4日 令和5年度第1回松本市歴史的風致維持向上協議会を開催
 令和5年7月27日 松本市空家等対策協議会での情報共有
 令和6年2月13日 令和5年度第2回松本市歴史的風致維持向上協議会を開催

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 庁内関係各課と歴史まちづくりの意識共有を進めていき、横断的な連携による計画の推進を図る。
--	--

状況を示す写真や資料等



令和5年度第1回歴史的風致維持向上協議会
 日時 令和5年7月4日(火)午前10時00分から
 場所 松本市役所本庁舎 第1応接室



歴史まちづくりに関する庁内会議
 日時 令和5年5月24日(水)
 場所 お城まちなみ創造本部 会議室

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和5年度
屋外広告物の規制		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

屋外広告物は景観を構成する重要な要素であることから、松本の良好な景観への規制・誘導と風致の維持向上を図るため、これまでの県条例から松本市の特性を踏まえた独自の屋外広告物条例を平成21年(2009)2月に施行しました。

松本市の魅力である北アルプスや美ヶ原高原などの山岳眺望と松本城を中心とした歴史的景観を保全するため、屋上広告物や野立て看板の規制を強化するなど、独自条例としての有効性と実効性を確保しています。今後は、条例の周知に取り組むとともに、市民意識の高揚に努め、松本市の多様な景観(自然、山岳、田園、市街地、城下町など)の保全や形成を目指すものとします。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

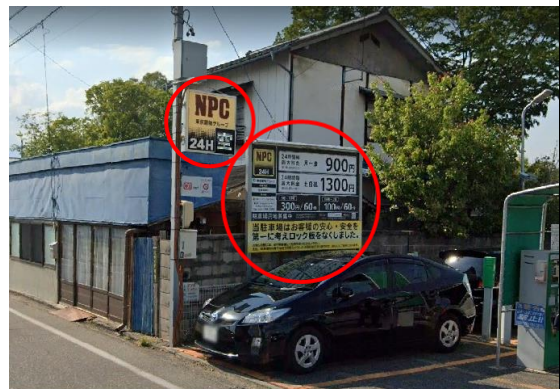
平成21年2月の屋外広告物条例施行に伴う、既存不適格広告物の早期是正を目的に、個別に相談や指導の業務を行っている。(個別相談及び指導業務を行った。令和5年度重点区域内改修基数0基)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成26年度末をもって改修補助金の制度も終わり、現在は違反処理に移行している。是正指導等のなかで事業者と粘り強く交渉をして改善を求めていく。

状況を示す写真や資料等

重点区域内改修事例

(過去の事例)



改修前

改修(色彩基準の適合)

評価軸②-2 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
重点区域における景観計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<p>重点区域は平成20年(2008)に策定した松本市景観計画において、歴史的景観区域と中心都市景観区域で構成されています。歴史的景観区域は、国宝松本城、旧開智学校校舎を始め、城下町の歴史的まちなみや、町割を色濃く残す景観要素で構成されている区域です。また、中心都市景観区域は商業施設・業務施設・行政施設が集積し、松本市の中心市街地を形成している区域で、近代的都市景観を形成しています。</p> <p>景観計画における景観重点地区としては、松本市の象徴である松本城を中心とする「お城地区」(松本城周辺重点地区)、町人地として、城下町の町割が残り、明治期の蔵など歴史的資産が点在し、中町通りに代表される歴史的街並みの保全と復元が図られている「お城南地区」(中町・高砂通り周辺重点地区)を指定しています。</p> <p>また、平成30年(2018)には歴史的景観区域と中心都市景観区域に中高層建築物を計画する事業者に対し、松本市景観条例に基づく景観事前協議を行うことを義務付け、地域に応じたきめ細やかな景観誘導を図っています。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観計画の行為制限(定性的基準)による景観事前協議制度により、歴史的景観区域、中心都市景観区域で高さ15メートルを超える建物を建等する場合、景観法に基づく届出(又は通知)の120日前(規模により異なる)までに松本市景観条例に基づく景観事前協議の手続きを求め、協議を実施している。(令和5年度重点区域内の協議完了件数:0件)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		良好な景観誘導手法として、景観計画や景観計画デザインガイドラインに沿った景観誘導を図ります。	
状況を示す写真や資料等			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">重点区域内協議事例</div>	
		松本市基幹博物館 (令和元年協議完了事例)	

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
松本城南・西外堀復元事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和12年度

支援事業名 平成23年度～：市単独事業
 平成25年度～：史跡購入費国庫補助
 平成29年度～：国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容
 大正末期に埋め立てられ、跡地が宅地として利用されていることから、天守が眺望できず、城郭としての歴史的景観が損なわれているため、外堀を整備することにより、周辺からの眺望改善を図ることができます。また、二の丸側の土坡(どは)等を本来のあるべき姿に整備することで、史跡の魅力が一層高まります。
 更に、松本城を訪れる観光客にとって重要な位置にある本場所の整備は、周辺の城下町と一体となった回遊性の向上性が図られ、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡指定範囲のうち、権利者の同意が得られた範囲の用地取得を実施した。
 用地取得の進捗率(令和6年1月末現在)は対象範囲の94.9%(8,810.79㎡)
 発掘調査結果と絵図資料から往時の水堀の範囲(平面形状)を推定した。
 堀の横断形状を確認するため、南外堀と西外堀の計3か所で横断的に発掘調査した。
 復元整備の考え方を史跡松本城整備基本計画(案)に記載し、パブリックコメントによる意見聴取を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 関係権利者の理解と協力を得て、用地取得交渉を進捗客観的情報を収集するため、発掘調査を継続復元整備に向けた具体の設計方針を検討

状況を示す写真や資料等



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
国宝松本城天守等耐震対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和12年度

支援事業名 平成26年度～：市単独事業

計画に記載している内容 耐震診断により、概ね震度6強以上の大地震動下では倒壊の恐れがあると判定された天守等について、文化的価値を損なわない耐震化を進めます。その結果、城下町の核である松本城が健全な状況に保たれて水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国宝松本城天守の耐震対策工事に向け、耐震対策基本計画策定のための耐震補強内容の検討を行った。天守構造と石垣の対策について、検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

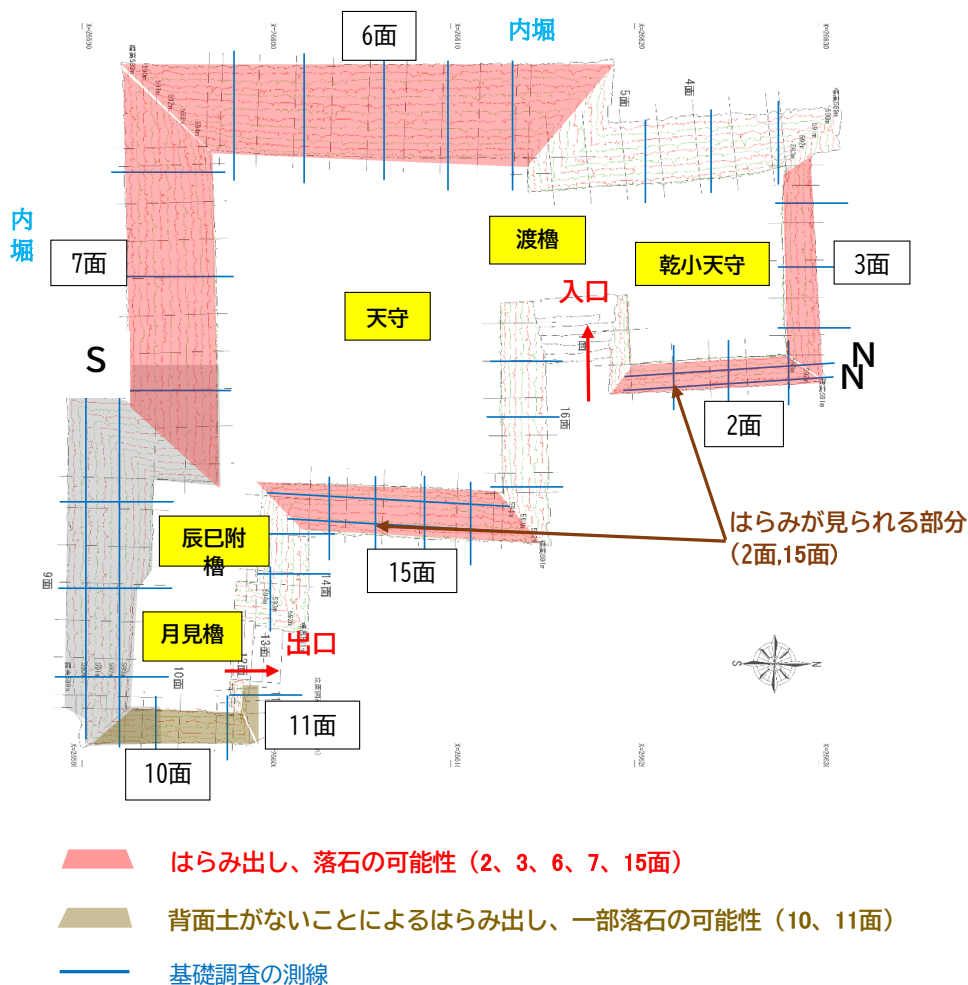
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

国宝松本城天守の文化的価値を損なわない耐震補強や、天守石垣の耐震性能を見据えた耐震対策を実施する必要があるため、国・県や有識者と共に慎重な検討を進める。

状況を示す写真や資料等

石垣耐震調査の結果 位置図



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
国宝松本城天守防災対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～6年度

支援事業名 令和2年度～：国宝重要文化財等防災施設整備事業

計画に記載している内容 設置から年数が経過し、老朽化が進む防災設備について、火災の早期発見・早期消火につなげるための更新、新設を行うことにより、城下町の核である松本城が健全な状況に保たれて、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国宝松本城天守の防災設備の見直しや更新、新たな防災設備の設置を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

既存防災設備の見直しを計画的に進める。
また、設備の設置にあたっては、遺構へ影響を及ぼすことのないよう、史跡の発掘調査等を実施する。

状況を示す写真や資料等

整備内容

- 1 令和3年度
 - (1) 自動火災報知設備の改善
 - (2) 自動火災消火設備の設置(スプリンクラー屋内設備)
 - (3) 屋内消火栓設備の改善(易操作性設備への変更)
 - (4) 屋外消火栓設備の改善(易操作性設備への変更)
 - (5) 発掘調査
- 2 令和4年度
 - (1) 屋内消火設備用送水設備(ポンプ室、貯水槽、発電機)の新設
 - (2) 電気設備(キュービクル)の更新
 - (3) 試掘調査
- 3 令和5年度
 - (1) 既存送水設備の改善(ポンプ室、発電機、既存配管)
 - (2) 試掘調査
- 4 令和6年度
 - (1) 防火水槽の改修
 - (2) 報告書の刊行



新規送水設備(ポンプ室)設置状況

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
松本城堀浄化対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和11年度

支援事業名 平成30年度～：市単独事業、令和5年度～：国庫補助事業

計画に記載している内容 堆積物により、堀に十分な水がはれない等の状況を改善し、堀の水質浄化を進めることにより、歴史的な景観の向上と快適な公園環境として、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松本城の内堀、外堀、総堀に堆積した汚泥等を除去(浚渫)するための工事着手に向け、松本城のお堀に適した浚渫工法の選定を行った。全面的な堀浚渫を行うため、実施設計を行った。あわせて、浚渫後の水量確保や維持管理について状況を把握するための堀総合調査を行った。これまでの調査等をふまえて、堀浚渫の実実施設計を行い、設計に基づいて浚渫を実施した。堀浚渫計画を史跡松本城整備基本計画(案)に記載し、パブリックコメントによる意見聴取を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 市民や観光客への影響を考慮しながら、堀の遺構を痛めることのないよう、松本城の堀に適した浚渫工法を用いて計画的に浚渫作業を実施する。

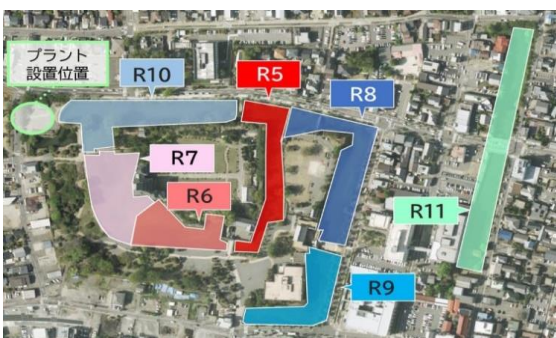
状況を示す写真や資料等

- 1 実施内容
- (1) 平成30年度～令和2年度 堀総合調査
 - (2) 令和2年度 堀浚渫実証実験の実施
 - (3) 令和3年度 浚渫工法の選定
 - (4) 令和4年度 実施設計、堀総合調査
 - (5) 令和5年度 堀浚渫業務委託の実施

- 2 令和5年度浚渫作業(予定)
- (1) 作業面積 3,480㎡
 - (2) 浚渫土量 2,262㎡



令和5年度の浚渫作業の様子



浚渫予定箇所(平面図)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
国宝旧開智学校校舎耐震改修事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和6年度

支援事業名 令和2年度～: 国宝重要文化財等防災施設整備事業

計画に記載している内容 歴史的建造物である校舎に耐震対策工事を実施することにより、建造物の保存・活用を図り商都松本の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年6月から耐震対策工事を実施している(令和6年度までの予定)
 令和4年から耐震工事関連展示(旧司祭館内に設置)や市公式YouTubeに工事の紹介動画をアップして情報発信を行っている

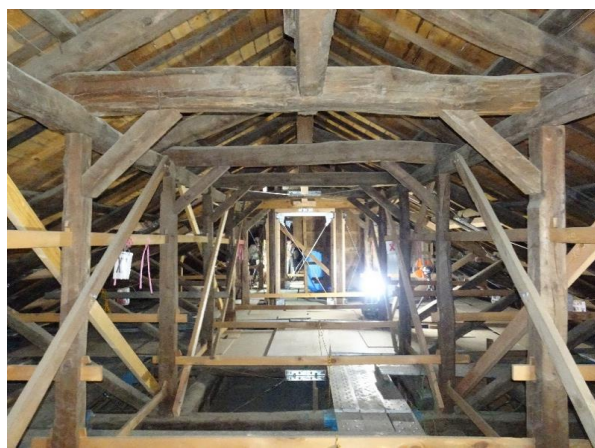
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

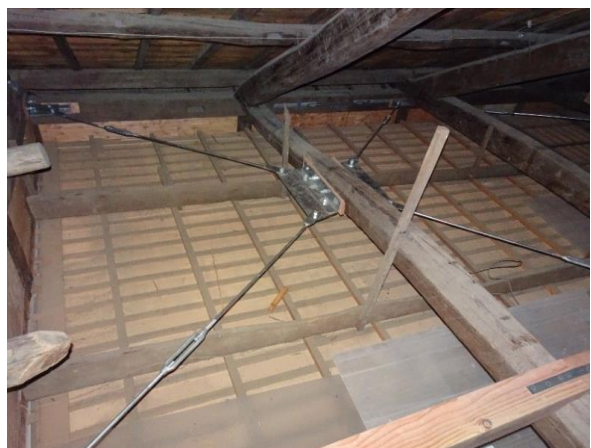
状況を示す写真や資料等



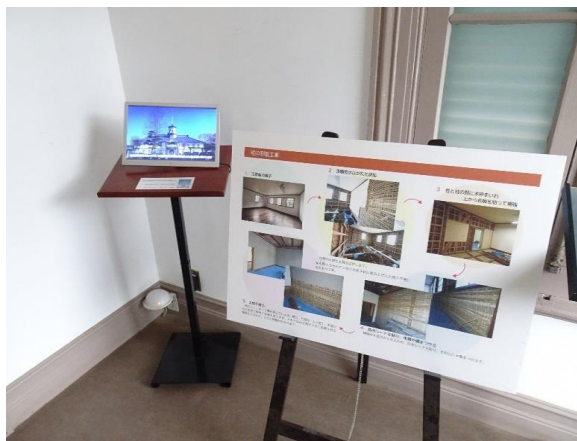
旧開智学校校舎 耐震対策工事の様子①



旧開智学校校舎 耐震対策工事の様子②



旧開智学校校舎 耐震対策工事の様子③



旧司祭館に旧開智耐震工事に関する展示コーナーを設置

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
歴史まちづくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 近代のまちの歴史を伝え、まちの魅力向上につながる建造物の保全活用の取組みにより、歴史的なまちなみ形成過程を知り、地域の歴史・文化への関心を高めて商都松本の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で



令和5年度までに123件を松本市近代遺産として登録し、市ホームページで周知を行った(令和5年度新規登録件数1件、登録廃止2件)。
近代遺産の所有者に対するヒアリングや啓発チラシの配布を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

近代遺産の認知度が低く、所有者や市民への周知が課題となっている。所有者の意向を確認したうえで、情報発信方法を検討する。

状況を示す写真や資料等

5-01-1 旧犬飼呉服店主屋	5-01-2 旧犬飼呉服店土蔵
 <p>【建築年代】昭和前期(以前) 【用途】店舗 【所在地】大手4丁目 【登録年月日】R6.2.13</p>	 <p>【建築年代】明治6年 【用途】倉庫 【所在地】大手4丁目 【登録年月日】R6.2.13</p>

令和5年度新規登録物件

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
松本城世界遺産登録推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成13年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	松本城が世界遺産登録を目指す中で、建築学・歴史学・考古学などの調査研究や同種資産との比較研究を行い、その最新の研究成果を広く市民に対し情報発信を行います。 それらの活動を通して、松本市民の共通の宝である松本城の恒久的保存、次世代への継承、文化財保護といった意識が醸成され、水めぐる城下町の歴史的風致の維持及び向上に寄与します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年5月に近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会総会を開催し、事業報告等を行いました。 令和5年6月に「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会総会を開催し、事業報告等を行いました。 令和5年8月に第4回3市市民交流会(犬山市・松江市・松本市)を犬山市で開催し、市民同士の交流を促進しました。 令和5年12月までに近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会のワーキンググループを2回開催しました。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	松本城の国内暫定一覧表記載に向け、引続き、顕著な普遍的価値の証明に関する調査研究、市民等への普及啓発活動及び県市の推進体制の整備など実施して参ります。		

状況を示す写真や資料等



近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会
令和5年度総会 (R5.5.19)



「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会
令和5年度総会 (R5.6.2)



令和5年度第1回ワーキンググループ (R5.5.30)



令和5年度 第4回3市市民交流会 (R5.8.3~4)

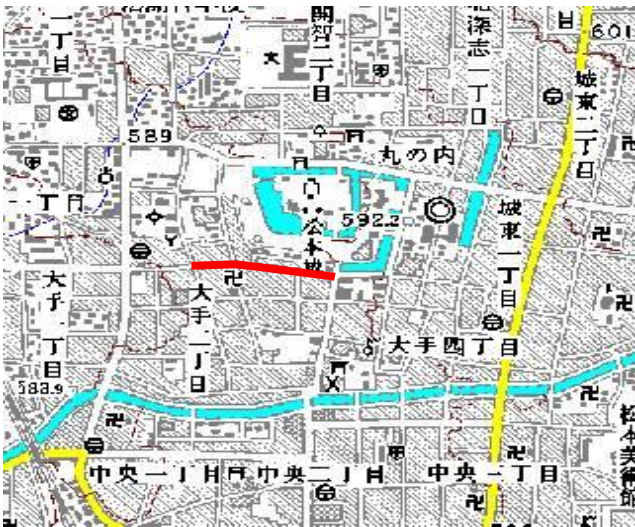
評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
(都)内環状北線整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和5年度		
支援事業名	平成23～29年度 社会資本総合整備事業(街路事業) 平成30年度～令和元年度 社会資本総合整備事業(都市再生整備計画事業) 令和2年度～5年度 都市構造再編集集中支援事業(個別支援制度)		
計画に記載している内容	自動車利用から歩行者・自転車及び公共交通を優先した道路への転換や広域避難地である松本城公園への歩行避難空間及び災害対応車両用空間を確保して環状道路の整備を行います。南・西外堀復元と一体のまちづくりによるにぎわい空間となる街路を整備することにより、市民の憩いの場や観光客のたまり場として利用できる街路空間を創出して水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
同意を得た関係権利者に対して、令和4年度に引き続き、工事を実施した。 令和5年7月に対面供用開始。 令和5年9月に歩道(北側)の供用開始。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成24年度に街路事業認可を受け、平成25年度から用地買収に着手し、地元の理解と協力を得て、用地取得を完了した。引き続き、松本城南・西外堀復元事業と一体的に事業を進めるため、関係部署と協議を行いながら事業進捗を図っている。		

状況を示す写真や資料等

都市計画道路 内環状北線
 道路改築 L = 280m W = 31m
 歩道(無電柱化、高質化)



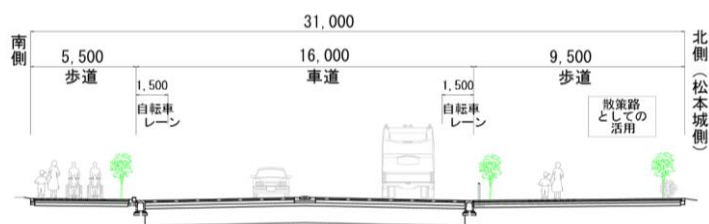
整備前



整備後



整備後の歩道(北側)



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
松本城周辺道路整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

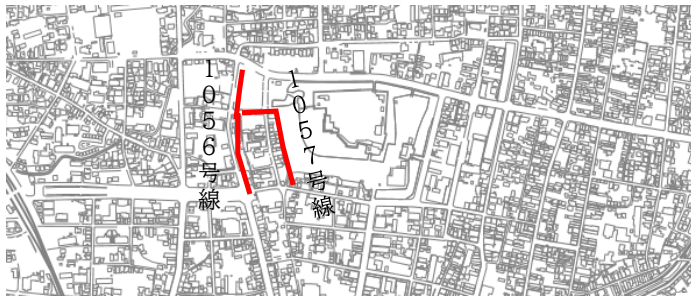
事業期間	平成29年度～令和9年度
支援事業名	令和2年度～4年度 都市構造再編集中支援事業(個別支援制度) 令和5～9年度:市単独事業
計画に記載している内容	松本城の西外堀復元とも関連するお城周辺の道路環境を改善して交通の円滑化を図り、歩行者・自転車が安全で安心して通行できる空間を整備します。松本城周辺景観形成による歴史的価値の向上により、水めぐり城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

関係権利者に対して、用地交渉を実施した。
 市道1056号線 5年度末用地取得 (8件/11件) 完了区間 140m/240m
 市道1057号線 5年度末用地取得 (4件/6件)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成29年度から用地買収に着手し、引き続き地元の理解と協力を得て意見を伺いながら慎重に進めている。

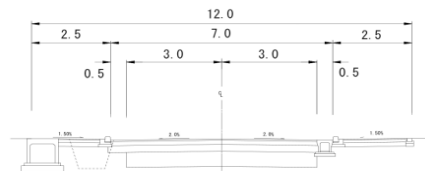
状況を示す写真や資料等



市道1056号線
 道路改良 L = 240m
 W = 12.0 ~ 15.0m

標準横断面図

標準断面図



整備前



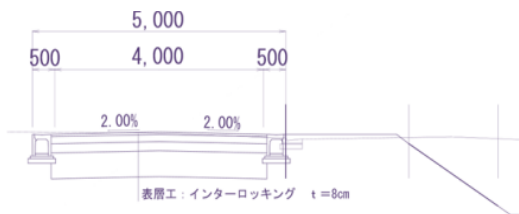
整備後



R4年度 140m/240m完成

市道1057号線
 道路改良 L = 250m
 W = 5.0m

標準横断面図



事業実施箇所



評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
市役所庁舎建替事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	現市役所庁舎の一部は、高度地区に定める高さ制限の既存不適格建築物となっています。 市役所庁舎の建替えにより、まちなみ景観を向上させて水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度 新庁舎建設の基本的な考え方などについて、庁内検討及び協議 令和4年 1月12日 基本的な考え方、具体的な案などについて、市議会議員協議会で協議 12月14日 市議会議員協議会で再協議(継続協議と集約) 令和5年12月18日 市議会議員協議会で再協議(継続協議と集約)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市役所庁舎建替事業については、議会協議で継続協議と判断されています。 今後も、議会への協議と市民の皆さまへの説明を行い、建設計画の進捗を図ります。 設計・建築にあたり、高度地区に定める高さ制限を遵守します。		
状況を示す写真や資料等			
			
<p>現市役所庁舎</p> <p>高さ制限を超過している</p>			

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
松本城を中心としたまちづくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和12年度

支援事業名 令和2年度～4年度 都市構造再編集集中支援事業(個別支援制度)
令和5年度～ 市単独事業

計画に記載している内容 松本城の南側に位置する当該地域を総合的に整備して、景観に配慮した良質な歩行者空間を提供し、まちの賑わいを創出します。
松本城周辺の景観形成による歴史的価値の向上により、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○土手小路(市道1507号線): 博物館と一体となったゆとりある歩行環境を創出し「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を整備

- ・平成30年度 測量及び詳細設計、土質調査を実施
- ・令和3～4年度 道路整備工事(高質化工事)を実施(L=182.9m, W=12.0m)

○大名町通り(市道1059号線): 滞留空間を備えた「界隈の魅力が滲み出す人中心のシンボルロード」を目指し整備予定
・令和5年度 測量及び土質調査、沿道町会主催の大名町道路活用整備委員会(以下、委員会)を10回(/年)実施

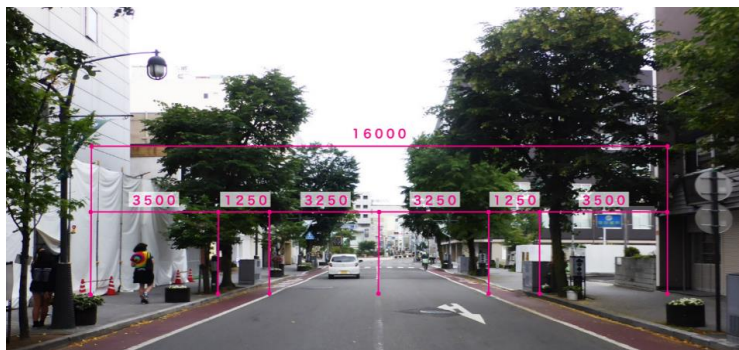
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない
令和3年度に策定した松本城三の丸エリアビジョンに掲げる大名町界隈の将来像実現に向け、道路空間活用及び活用に合わせた道路空間再配分、道路高質化整備を予定している。令和6年度は委員会と連携し景観検討を含めた道路詳細設計を実施する。


状況を示す写真や資料等



市道1507号線(土手小路) 整備後
(L=182.9m, W=12.0m)



市道1059号線(大名町通り) 現況
(L=300m W=16m)

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歩いてみたい城下町まちづくり事業(まちなみ修景事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～令和4年度		
支援事業名	令和3年度～4年度 都市構造再編集集中支援事業(個別支援制度)		
計画に記載している内容	城下町の町割が残るお城周辺は、特徴のある路地や小路が存在し、城下町の風情やたたずまいを醸し出し、城下町であったことを今に伝え、歴史的風致を形成する重要な要素です。建物の修景補助を行うことにより、まちなみ景観を向上させて水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内のお城周辺地区第2ブロックにおいて、まちづくり協定や街並みガイドラインに基づき、建物のファサード修景に対する補助を行い、良好なまちなみ景観を形成するもの。(補助は令和4年度に一旦終了)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	お城周辺地区の回遊性の向上のために、まちづくり協定運営委員会と修景手法やまちづくり協定等との整合について、検討しながら整備を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
			
			
修景前		修景事例	
修景事例		修景後	

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
景観計画推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成20年度～令和12年度
支援事業名	令和2年度 景観改善推進事業(景観計画改定)、令和3年度～ 市単独事業 令和4年度 景観改善推進事業(景観計画デザインガイドライン改定)
計画に記載している内容	景観計画の改定を行い、より良好な景観形成への誘導を図ることにより、歴史的まちなみ景観が向上して市内全域の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成20年度に策定した松本市景観計画を改定して、景観事前協議制度における協議の円滑化を図ります。また、各地域の特性や守るべき景観の特徴など、景観形成上配慮すべき点を明確にして、良好な景観への誘導を図るもの。(令和5年度重点区域内の協議完了件数:0件)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	良好な景観誘導手法として、景観計画や景観計画デザインガイドラインに沿った景観誘導を図ります。

状況を示す写真や資料等

松本市景観計画 基本理念

暮らし・自然・歴史つむぐ、景観都市まつもと

暮らし

暮らし・生活の一部である景観に愛着と誇りをもち

自然

自然豊かな環境に感謝するとともに

歴史

先人たちが築いた歴史ある景観に敬意をあらわし

次世代へ引き継ぎます。

松本市景観計画 9つの基本方針



①山岳部の景観を守り育てる



②農山村景観を守り育てる



③歴史的景観を守り育てる



④市街地の景観を守り育てる



⑤河川景観を守り育てる



⑥地域にふさわしい道路景観を創出する



⑦落ち着いた住環境を創造する



⑧眺望景観を守る



⑨「ナニッパ」で景観づくりに取り組む

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況
空き家対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和10年度

支援事業名 令和2年度～10年度 空き家対策総合支援事業

計画に記載している内容 空き家対策の促進により、歴史的建造物の滅失を防いで歴史的まちなみ景観を保全することにより、市内全域の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

空き家バンクに物件を掲載する事により利活用の促進している。(R5.12月現在 掲載物件28件)
 空き家バンクのホームページ閲覧数 (R5.3月末現在 閲覧数30,318)
 老朽化した空き家が危険な状態である場合に解体費の補助を行っている。(R5.12月現在 累計36件)
 松本市内の空家等対策計画における想定空家の数 (R5.7月現在 空家数2,153戸)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

空き家は今後も増加傾向にある。
 空き家問題の意識醸成を図り、所有者自身による適切な管理を促進する。空き家バンクへの掲載物件が増えるよう、公式SNS等を活用し、物件所有者に対して周知を図る。そのうえで、除却・利活用に際しては、歴史的建造物であるかどうか、という視点も必要と考える。

状況を示す写真や資料等



松本市空き家バンクサイトのイメージ



市内の老朽化した危険な空き家のイメージ

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財記録保存事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成20年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	今後失われたり、変容するおそれのある文化財を記録の上で保存し、その成果を公開することにより、次世代への伝承と市民への情報発信ができ、市内全域の歴史的風致の維持向上に寄与します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
コロナの影響により縮小している民俗調査を実施した。 未指定文化財の調査を実施し記録した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	個別文化財については案件ごと、祭礼は再開され次第、引き続き調査を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>梓川 野々宮神社の祭礼と舞台の調査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>八幡宮鞠子社のイタヤカエデ調査</p> </div> </div>			

評価軸③-16 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
市民学芸員養成講座		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	「松本まるごと博物館構想」の実現に向け、博物館を拠点に地域を学び情報発信し、活動の中心となる人材として市民学芸員を養成することで、松本市の歴史・文化を継承し、市域の歴史的風致の維持向上に寄与します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
1 第12期市民学芸員養成講座を6～2月まで全9回で開講し、養成を行っています(16人受講)。令和6年度開催の企画展で配布するリーフレットの完成を目標に、松本藩や藩土に関する調査・研究を行っています。 2 受講修了生が、七夕・犀川通船・蚕・町名など個別のテーマに応じてグループを作り、調査・研究を進めています。研究成果は、3月開催の博物館まつりで発表されます。 3 調査・研究を基に講座を実施しています。七夕グループでは、学校や福祉広場などで計5回の七夕人形作り講座を実施しました。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	養成講座の講師を修了生に任せるなど、市民学芸員の活動の場を拡大していきます。		
状況を示す写真や資料等			
			
養成講座 講座の様子			
② 講座の流れ			
カリキュラム			
第1回	6月24日(土)	オリエンテーション	(1) 博物館と市民学芸員の意義を理解する力
第2回	7月22日(土)	講座「まちあるき」	
第3回	8月26日(土)	講座「調査・研究方法について」	(2) 調査・研究する力
第4回	9月30日(土)	講座「資料の扱い方について」	(3) 資料を扱う力
第5回	10月28日(土)	講座「発表方法について」	(4) 発表する力
第6回	11月25日(土)	リーフレット作成①	(5) 協力する力
第7回	12月23日(土)	リーフレット作成②	
第8回	1月27日(土)	リーフレット作成③	
第9回	2月34日(土)	修了式	
養成講座カリキュラム			

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
松本城学びと研究事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 松本城や城下町を「体験」「学習」の場として捉え、『松本城でなければ学べない、松本城だから学べる』をコンセプトとした学習会等を開催して、子供や市民の学習意欲に応えます。
 また、これらの活動を通じて松本城や城下町の歴史、伝統行事、文化財保護の考え方を学ぶことにより、意識の高揚が図られ、市内全域の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

天守建造物や史跡などの重要性を学ぶ機会を提供するため、松本城二の丸、三の丸の歴史遺構を見学する夏休み子ども勉強会(令和5年7月29日)、松本市の所蔵する火縄銃についての理解を深めるための松本城講座(令和5年11月4日)をおこなうほか、学校・公民館や企業等を対象とした出前講座を年間をとおして実施した。
 松本城に収蔵されている歴史資料の研究成果を紹介する「おもシロ! 城郭つうしん」の更新や市内の小学6年生を対象に学習教材(副読本「私たちの松本城」)の配布も例年に引き続行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

松本城を後世に残し伝えるために、松本城や城下町を「体験」「学習」の場として、歴史や伝統行事、文化財保護の考え方を学べるような機会を創出する。

状況を示す写真や資料等



松本城講座の様子



夏休み子ども勉強会の様子

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
----	--------	-------

文化財の保存・活用について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------	--	---

計画に記載している内容
 松本市は、市域全体の文化財を指定・未指定を問わず総合的に把握し、保存活用を図る文化財保護のマスタープランとして平成29年(2017)度に「松本市歴史文化基本構想」を策定しました。さらにこの基本構想を基に、平成30年(2018)度に「松本市文化財保存活用地域計画」を策定し、令和元年(2019)度に国の認定を受けました。松本市歴史文化基本構想及び松本市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の適切な保存・活用を図ります。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松本市文化財保存活用地域計画に基づく文化財活用事業であるまつもと文化遺産に新規に「貞享騒動の記憶」を認定した。また、保存活用団体に補助金を5件交付した。また、学都松本推進事業のひとつとして、文化財×市民団体「日本の近代化を支えた稲核風穴を体感ツアー」を開催し、市民の親子9名が参加した。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



まつもと文化遺産「貞享騒動の記憶」



日本の近代化を支えた稲核風穴を体感ツアー

評価軸④-2
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財の修理について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財の区分に応じ、文化財保護法や関係条例の規定を遵守し、また、必要に応じて文化庁、長野県、松本市文化財審議委員、学識経験者等の指導・助言を仰ぎながら、適切に文化財の保存・管理を実施します。個人所有の指定等文化財に対する修理については、計画的に補助金の交付を行い、所有者の負担軽減を図るとともに、適切な修理内容となるよう支援します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

長野県宝里山辺お船祭りのお船(兎川寺町会)保存修理事業1件、松本市特別天然記念物伊和神社ケヤキ、内田のカキ樹勢回復事業2件、登録有形文化財(松本市近代遺産)旧小穴家住宅主屋、書庫、旧第一勧業銀行松本支店修理等事業3件の計6件に対して補助金を交付した。また、史跡松本城、旧開智学校、旧松本高等学校等、橋倉家住宅、旧山辺学校等の修理を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	補助制度はあるものの多額の費用がかかるため、所有者都合による実施の延期や修理方針の変更等が生じている。

状況を示す写真や資料等



松本市特別天然記念物
伊和神社ケヤキ



長野県宝 橋倉家住宅
雪隠屋根

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
文化財の保存・活用を行う施設について			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 松本市は、平成12年(2000)に「松本まるごと博物館構想」を策定し、松本市立博物館を中核施設として松本市全体を屋根のない博物館と考えて事業を展開しています。本館のほかに文化財建造物の活用を含め15の分館を設置し、博物館活動を通して文化財の保存活用を進めています。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 1 松本市立博物館が10月7日に移転・開館し、収蔵資料の公開を再開しました。
- 2 松本市立博物館の開館に合わせ、地域の保存会による伝統芸能披露を行いました。(木やり・獅子舞)
- 3 松本市立博物館本館・分館15館でさまざまな事業を実施しました。主な事業は、下記のとおり。
 - (1)松本市立博物館 10月7日(土)～12月10日(日)開館記念特別展 まつもと博覧会
 - (2)松本市時計博物館 7月29日(土)～9月10日(日)夏季特別展 航海と旅を支えた時計～甦る英国古時計コレクション～
 - (3)松本市はかり資料館 10月28日(土)～12月26日(火)企画展 今昔はかり展

進捗状況 ※計画年次との対応
 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



伝統芸能披露(奈川獅子)



開館記念特別展「まつもと博覧会」

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財の防災について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財のハード・ソフト両面での防災のための整備等を進めるとともに、日常的な管理における防災を徹底します。また、個人等が所有する文化財については、防災・防犯に関する情報を周知し、日常的な維持管理を始めとした対策について協力を仰ぎます。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国宝松本城天守、国宝旧開智学校校舎等で、1月26日の文化財防火デー等に消防訓練を行った。市が管理する文化財建造物は、防災・防犯のため、夜間巡回警備、来場者への啓発・注意喚起の掲示等を実施。民間所有の指定・登録文化財は、長野県教委、市教委が実施している文化財パトロールの際、防災、防犯の状況を確認した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

ソフト・ハード両面の防火、防災体制の強化が必要となっており、引き続き耐震対策、防火対策を推進する。

状況を示す写真や資料等

文化財防火デー消防訓練



重要文化財 馬場家住宅



松本市重要文化財 松澤家長屋門

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
外堀大通りに「広い歩道」	R5.9.15	市民タイムス
「松本電気館」広く活用探る	R5.9.28	信濃毎日新聞
「貞享騒動の記憶」文化遺産に認定 松本市教委が承認	R5.11.25	市民タイムス
橋倉家住宅 活用に道筋 旧城下町 読書会や作品展も	R5.11.27	市民タイムス

評価対象年度 令和5年度

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内の文化財等とその活用(観光、地域づくり等)に関する関心が高まっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



市民タイムス (令和5年9月15日)



信濃毎日新聞 (令和5年9月28日)



市民タイムス (令和5年11月25日)



市民タイムス (令和5年11月27日)

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

項目
歴史まちづくりの効果について

計画に記載している内容
本計画における歴史的風致維持向上施設の整備及び管理等は、歴史的風致を構成する建造物の保存・活用、歴史的風致の維持向上に資する環境の維持・形成、歴史的風致への理解を促すための事業等により実施します。

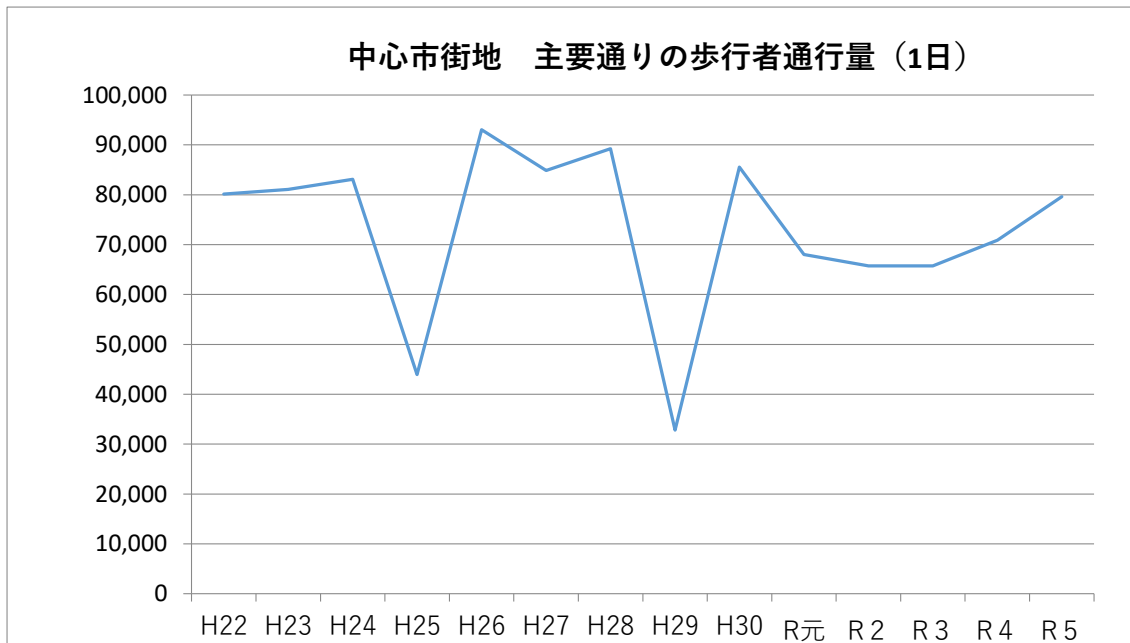
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史的風致維持向上施設の整備の進捗により、中心市街地の主要な通りの歩行者通行量は微増傾向にある。但し、当該指標は調査日の天候に左右され、H25、29年度は雨天、R元年度は曇天で気温が上がらなかったため、R2、3年度は新型コロナウイルスの流行による影響を受け歩行者通行量が減少していた。R5年度は、10月に開館した松本市立博物館の立地する大名町や、近隣の六九町、緑町、縄手通りの対前年度比の歩行者通行量増加率が高かった。また、9月に(都)内環状北線整備事業が完了し、広い歩道が整備されたことにより、新たに歩行者の滞留が生まれている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

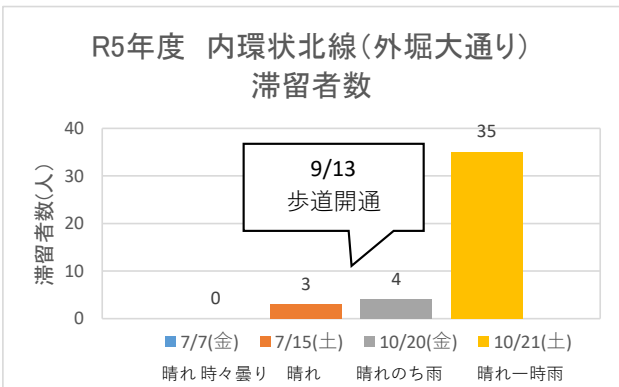
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
中心市街地 主要通りの歩行者通行量(1日)	80,114	81,076	83,098	43,948	93,043	84,862	89,235	32,810	85,571	68,016	65,711	65,743	70,869	79,616
前年対比	-	1.2%増	2.4%増	47%減	111%増	8%減	5.1%増	63%減	261%増	21%減	4%減	0.05%増	7.7%増	12.3%増

※上土町、大名町、緑町、大手通り、西堀町、六九町、縄手通り、伊勢町、中町、公園通り、駅前通りにおいて計測した34地点の歩行者通行量を集計。



(三の丸エリアプラットフォーム アクティビティスキャン調査による)

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 松本市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時： 令和6年2月13日 10時00分から11時45分まで	
<p>(コメントの概要)</p> <p>(1) 国宝旧開智学校校舎耐震改修事業について、掲載写真が左官工事の様子であるので、耐震改修工事の写真に差替えた方が良い。</p> <p>(2) (都)内環状北線整備事業について、広い歩道が整備されたことを示す写真を掲載すると良い。</p> <p>(3) 松本城南・西外堀復元事業の他にも、史跡松本城整備基本計画に掲載されパブリックコメントで意見聴取している事業があるので、該当するものは松本城南・西外堀復元事業と同様に明記すべき。</p> <p>(4) 歴史まちづくりの効果について、歩行者通行量や滞留者数などの指標はイベントの有無に左右されやすく、イベントを開催している日のデータを用いると信憑性がなくなってしまう。天候等の外部要因もシートに記載することが望ましい。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>(1) 国宝旧開智学校校舎耐震改修事業について、写真は耐震改修工事の一工程として行った漆喰壁の復旧の様子であるため、そのまま掲載しました。</p> <p>(2) (都)内環状北線整備事業について、広い歩道が整備されたことを示す写真を追加しました。</p> <p>(3) 松本城南・西外堀復元事業と同様に史跡松本城整備基本計画に掲載した松本城堀浄化対策事業について、パブリックコメントによる意見聴取を行った旨の記述を追加しました。</p> <p>(4) 歴史まちづくりの効果について、歩行者通行量の評価に天候等の外部要因に関する記述を追加しました。滞留者数はイベントを開催していない日に計測していますが、天候についてはばらつきがあるため、データを追加しました。</p>	